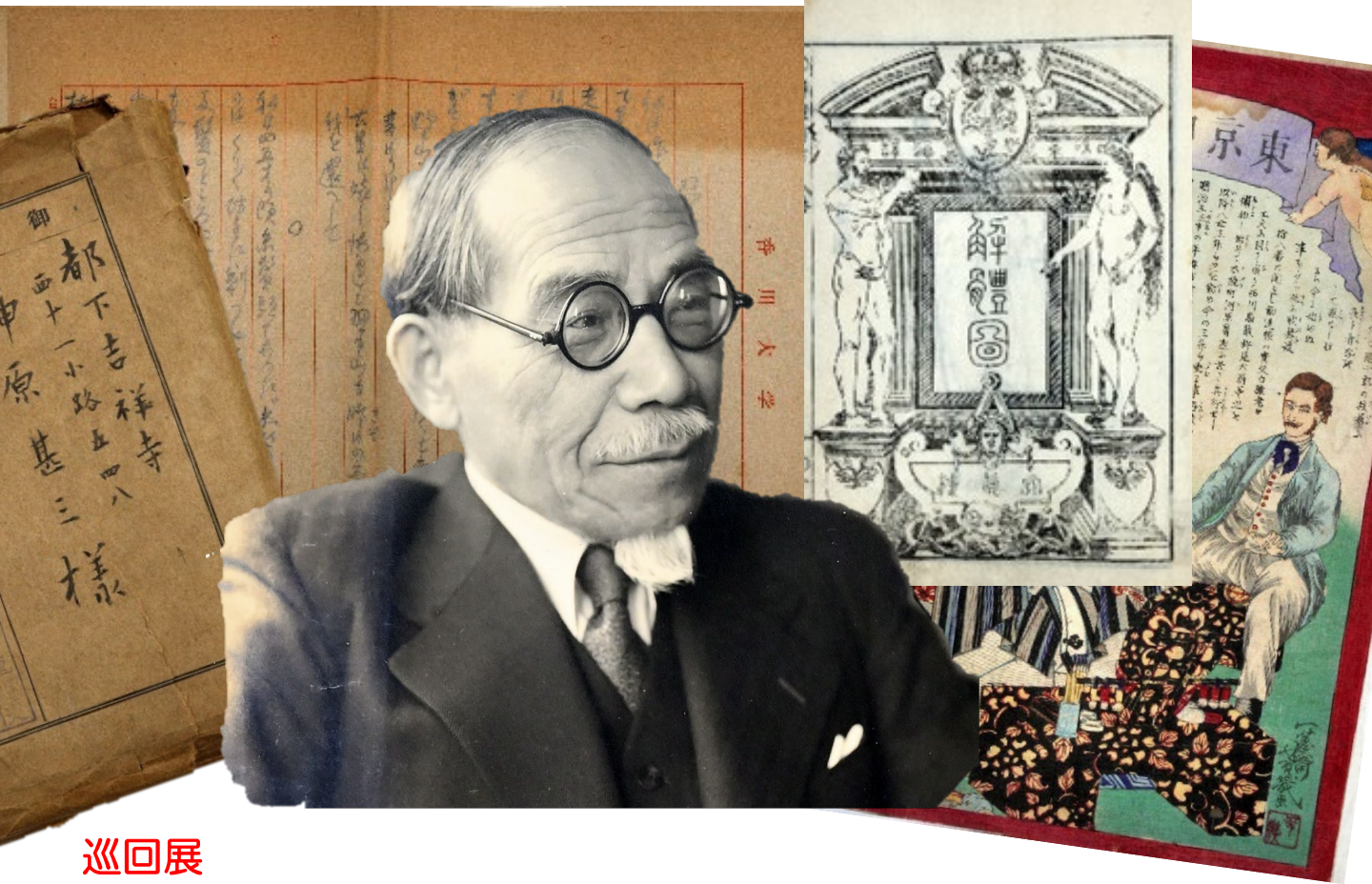


「神原文庫」と 香川大学初代学長神原甚造の人物像



巡回展

期間：①令和5年 8月 29日(火)～令和5年10月1日(日)

※香川県立図書館の休館日は除く

②令和5年10月3日(火)～令和5年11月20日(月)

③令和5年12月1日(金)～令和6年1月27日(土)

※香川大学図書館中央館・博物館の休館日は除く

会場：①香川県立図書館 閲覧室展示コーナー

②香川大学図書館 2階 多目的スペース

③香川大学博物館 展示室

※資料保存の観点から、神原文庫資料現物の展示ではありません。

パネルやキャプション、関係資料を用いて神原文庫を紹介します。

「神原文庫」とは、香川大学初代学長神原甚造氏（明治17生）による収集コレクションである。昭和29年に神原甚造氏が逝去された後、香川大学へコレクションの大部分が寄贈された。その後、昭和62年に寄贈資料が追加されて現在の形になった。史資料約1万2千点、所蔵本約1万6千冊を超える大コレクションである。コレクション成立には、明治・大正・昭和初期に日本の多くの文化財が市中に流出し、古書肆界（こしょしかい）が極めて活況であった社会状況も大きく関係している。

一方、神原甚造氏は、自身でも『明星』に短歌の作品を断続的に掲載していた。また、文学関係資料や史料（歴史資料）の収集にはとくに力を入れていた。「神原文庫」の収蔵品の内容は多様であるが、とくにそうした人文学関係の史資料は点数といい、その内容といい白眉である。神原氏は人文学に強い関心を持っていた。

本展示では、神原氏自身の文学作品等とともに、文学関係・郷土香川県に関する史資料等を紹介しながら、神原甚造氏の人物像にも迫り、「神原文庫」の成り立ちについて考えたい。